

# 議員定数等調査研究 特別委員会会議録

令和4年12月7日(水)本会議終了後  
小美玉市役所 3階 議会委員会室

小美玉市議会

# 議員定数等調査研究特別委員会

令和4年12月7日(水) 本会議終了後  
議会委員会室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 協 議

①視察研修について

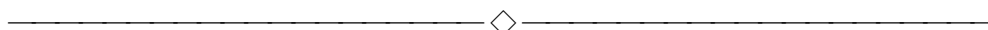
②その他

4 閉 会

**出席委員（10名）**

1 番	山 崎 晴 生 君	6 番	島 田 清一郎 君（副委員長）
7 番	鈴 木 俊 一 君	8 番	村 田 春 樹 君
9 番	植 木 弘 子 君	10 番	石 井 旭 君
11 番	谷 仲 和 雄 君	12 番	長 島 幸 男 君
13 番	岩 本 好 夫 君（委員長）	14 番	福 島 ヤヨヒ 君

**欠席委員（なし）**



**議会議務局職員出席者**

局 長	戸 塚 康 志
書 記	深 作 治

午後 4時53分 開会

○副委員長（島田清一郎君） お疲れさまです。只今より、議員定数等調査研究特別委員会を開会いたします。

最初に、委員長挨拶、岩本委員長お願いいたします。



## ◎開議の宣告

### 1. 視察研修について

○委員長（岩本好夫君） 一般質問に引き続きお疲れさまです。時間も時間なんで早々に始めたいと思います。よろしくをお願いします。

○副委員長（島田清一郎君） 議事の進行は、岩本委員長が行います。よろしくをお願いいたします。

○委員長（岩本好夫君） それでは、協議に入ります。あらかじめ皆様のほうには資料行っていると思うのですが、今日は主に視察研修についてを皆さんと協議したいと思います。事務局のほうからは、常陸太田と千葉と福島のほうかな、こんなところもありますということで、参考資料きていると思うのですが、あと、皆さんのほうでどこかありましたら、それとあとは日程ですよね、こちらでここに行きたいとなったとしても、その日程で先方さんが受入れられるかどうかというのがありますので、考え方としては、例えばどうしてもここに行きたいというところがあれば、そちらに連絡をしてどの日程だったら対応できるかということを確認してみんなであわせるか、あるいはなるべくみんなで研修視察に行きたいと思うので、皆さんの日程にあわせからいくつか候補をあげて行き先を決めるという形にするか、そのへんも含めて皆さんのご意見いただきたいと思います。石井委員。

○10番（石井 旭君） 行き先の資料も見ましたので、できれば委員長、副委員長で日程も調整していただいて、受入れ先もあると思うのでそれでお任せして、みんながそれにあわせていただけるかと思うのですが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

○委員長（岩本好夫君） そうしたら、現時点で研修来年もうある程度決まっているよね。

○事務局課長補佐（深作 治君） そうですよ。総務常任委員会のほうが、1月24日、25日、産業建設委員会が1月31日、2月1日、文教福祉常任委員会が2月7日、8日となって

おります。

○委員長（岩本好夫君） この時期になると、全員が日程あわせるのは中々難しいと思うので、石井委員の言うように日程のほうと、研修先も含めて正副委員長にらせていただいているですかね。

〔「異議なし」の声あり〕

○委員長（岩本好夫君） おそらく2月の中旬とかそこらへんになるかと思うのですが、その頃先方も含めて日程組んでみます。研修についてはそれでよろしいですかね。

〔「はい」の声あり〕



## 2. その他

○委員長（岩本好夫君） その他ありましたらお願いします。谷仲委員。

○11番（谷仲和雄君） 前回の会議録の中で、前回の会議の中で各委員さんの発言をいただいた中で、今回の定数等調査特別委員会を立ち上げるにあたって、定数についてもんできた、長い間もんできたという文言の会議録がここに 있습니다。そのもんできたというところの具体的裏付けとなる委員会の会議録の提出を求めたいと思います。

○委員長（岩本好夫君） 事務局大丈夫かな。それは議会活性化委員会の会議録ということだね。谷仲委員。

○11番（谷仲和雄君） この特別委員会をつくるときに、全員協議会で荒川議長と私が協議の中で確認事項をした話と、その意見の整合性がとれていないので、そこをまずしっかり裏付けをとらないといけないそこですね。

○委員長（岩本好夫君） 谷仲委員どの部分を言ってるんだろう。

○11番（谷仲和雄君） これは石井委員の発言中のところですね。笹目議長のときに、出だしのところ、はじめての議員さんもいますがのくだりですね。これでもんできた、もんできたということは、当然活性化委員会の中でそれを題材に上げて議論をしてきたという解釈に受け取られかねます。それで、私が全協のときに議長に確認したときは、それは活性化委員会では扱えないということで、委員長からはかってきたと。私は当時議長にこれは定数について報酬等について、この2つをセットで考えるのか、それとも別々に考えるのか、そのようなくつか確認をしたときに、議長はそれは全て新しい委員の皆さんで決めてくださいというやり取りが前回の会議録に残っていると思いますので、そういうやり取りも含めてこのところが出だしがしっかりした形でいかないと、会議の中身が進む中の出だしがずれ

るとどのような形で、フラットな状態からこの委員会をはじめたという議長の全協でのやりとり。そこのところでもんできたという裏付けとなる会議録のほう、それを読んでみたいというところがあります。提出いただければと思います。よろしく申し上げます。

**○委員長（岩本好夫君）** 事務局それ、ただ、定数と報酬をセットという言い方はおかしいかもしれないんだけど、ただ、この特別委員会を立ち上げる趣旨はそうなっているんだよね。定数と報酬について調査、研究するということになっているから、それは調査、研究するというので、今谷仲君やっているんだけど、私もこの特別委員会立ち上がる前に議会活性化のほうで議題として上がったということなので、私も事務局のほうに議会活性化のほうの資料、会議録をいただいて全部目を通してこの委員会には臨んでいます。確かに谷仲委員の言いたいこともわかります。取り敢えず会議録のほうは次回か、あるいは各委員さんのほうに送ることはできるでしょう会議録。

**○事務局課長補佐（深作 治君）** スマートディスカッションの中に入れるか。

**○委員長（岩本好夫君）** 送る形で、委員会開いてそこでどうこうではなくて、皆さんに送っていただくという形で、それで皆さんいいですかね。普通であれば会議録見てもう1回委員会するのもあれかなと思うのだけど、谷仲委員それでいいかな。

**○11番（谷仲和雄君）** よろしいですか。すみません間接的だとあれなので、石井委員にお尋ねしたいんですが、もんできた委員会というのは、どの委員会を指しますか。

**○委員長（岩本好夫君）** 石井委員。

**○10番（石井 旭君）** この間急に言われたので、言葉の使い方が間違っていたのかもわからないんですが、活性化委員会のほうで、そういう人口減そういうことで、議会活性化なので、近隣を見ていて定数が今の20名が適しているのか、そういう流れで、活性化の中で議事録見てもらうとわかるんだけど、そういう話が、もんだという話し合いをしてた中で、じゃ定数削減の、以前ね、私ら議員になったとき22人から20人になりましたよね。そういう前回の資料なんかを見ながらそういうものをしていかなければならないのではないかとということで笹目議長のほうにふったわけですよ。それで、委員長は幡谷委員長だったと思いますが、その中でここで、それをふったというのは活性化委員会の中でしょ。報酬についてもこれ以上この委員会でやっていくんじゃなくて、新たにつくってくださいということで、議長になげたということで、もんだという言い方は言い方が悪かったかもしれませんが、そういう中でこの特別委員会が立ちあがったので、ここで調査研究するということだと思しますので、よろしく申し上げます。

○委員長（岩本好夫君） 谷仲委員。

○11番（谷仲和雄君） ありがとうございます。あとは委員長がさっき言った全協のときに、私が議長にお尋ねしたのは、定数と報酬をセットで捉えて話すんですか、それとも定数は定数、報酬は報酬、別々でやるんですかって、そのバリエーションというか、パターンどのような取り組み方で、本来特別委員会議長がつくるのであればある程度こういう形でやってくれて言って特別委員会ができるのがこれが普通かと思うのですが、それを確認したときに、いやそれはまだ何も決まっていないから今度できる新しい特別委員会の委員の皆さんで決めてください、このやりとりがあったので、そのこのところですね。この会議録あった中で、はじめての議員さんもいますがというところと、活性化委員会のほうで数年もんでいて、そのこのところが整合性が取れていないんじゃないかということで確認をただけです。たいしたところはないんで、その確認で会議録をあげてくださいとその話だけです。以上です。

○委員長（岩本好夫君） 石井委員。

○10番（石井 旭君） 今そのような話でもんできたというか、活性化の中でそういう話が出てきた中で、これはこの活性化の中では、正直その中では定数削減は仕方ないんじゃないかという話が出たもんですから、そういう中で委員長のほうから議長のほうに言って特別委員会を設置してもらったと。もんでたというかその中で、活性化の中で話が出ていて、やはりもうそういう時期ではないかと。当初5万3,000人もう切っているわけですから、近隣を見てると定数を削減している常陸太田とかうちと同じようなところは、既に定数を削減されているんで、そういう話が活性化で出ていて、最終的には議長にあげて特別委員会をつかっていただいてしっかりと定数であったり、報酬も当然勉強ですからね、決める訳ではないので、ここでもんで最終的には全員協議会というか、本会議場で決まるわけでしょうから、そういう時期に来たんだろうということで、もんだというか活性化の中でそういうことになって議長にあげたということでもありますので、議事録を見ていただければ内容的にはわかると思いますので、よろしくお願いします。

○委員長（岩本好夫君） 長島委員。

○12番（長島幸男君） 私も今石井委員の言ったような形で、もむとかなんかじゃなくて、そういう話が出てきて人口減とか、だから協議したらいいんじゃないのと、そういう話しの中でこの活性化特別委員会ではなくて、別な委員会をつかってそれで協議したらいいんじゃないかと私の今までの記憶の中流れでは、そういうもむとか具体的に協議したとかなんか

というのは特別なかったと思うんですね。

**○委員長（岩本好夫君）** わかりました。それを踏まえて第1回の委員会を開催したときに、議員さん個人個人の意見を皆さんに言っていただいて、それを集約して、それを近隣云々ではなくて、人口とか面積でだいたい8割ぐらいは定数決めているところが多い。ただ、2割は地域性があつたりとかいろいろ問題があると。その小美玉の2割をみんなで考えましょうということになって、それで、じゃそういったところに研修に行って、見識をもっと広くしてそれでまた協議しましょうということになったので、そのへんのところは会議録スマートディスカッションのほうに送ってもらって皆さん、もんだということではないにしてもいきなりあがって話が出ているんだから、どういった流れでどんな話になったのかぐらいは皆さんに目を通してもらったほうがいいかなとは思いますが。それは事務局から来たら皆さん目を通していただければ大丈夫ですから。最終的には研修はおそらく2月の中旬頃目安で、それで日程のほうとあとは相手先のほうも事務局と正副委員長で協議させていただくということで、よろしいですね。

〔「異議なし」の声あり〕

**○委員長（岩本好夫君）** 他なければこれで委員会終了しますが、大丈夫ですか。副委員長お願いします。



### ◎閉会の宣告

**○副委員長（島田清一郎君）** 以上で議員定数等調査研究特別委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

午後 5時09分 閉会